埼玉県熊谷市における森林環境譲与税の使途公表について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和６年度	令和７年度	計	令和７年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	3,295,137	129,070,504	132,365,641 （※基金益531,641円含む）	100%	
譲与額（円）	107,028,000	24,806,000	131,834,000		

■令和７年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）	うち森林環境譲与税（※基金益含む）	事業内容
木材利用	（仮称）道の駅「くまがや」整備事業	434,630,000	118,696,000	木造建築物の新築（食の棟、子どもの棟、屋根付き広場）における構造用集成材等に国産木材342.04㎥、埼玉県産木材205.08㎥を使用した。
木材利用	子育て支援・保健拠点施設整備事業	4,453,618,758	10,374,504	子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」内の一部の施設の内装に埼玉県産材を使用した。 ・中央保育所　1,126㎡ ・こども館（石原児童クラブ）　184.2㎡ ・保健センター　68.5㎡
合計		4,888,248,758	129,070,504	

■今後の実施計画

道の駅くるん熊谷整備事業を実施

道の駅くるん熊谷は、令和8年5月に名称が決定し、令和10年３月の開業に向け、池上地区（国道17号バイパスと国道125号の交差点）に整備を進めている。令和7年度から引き続き木造建築物（食の棟）の新築に令和８年度森林環境譲与税を活用する。

子どもの棟 / 屋根付き広場





食の棟



※画像はイメージであり今後変更になる可能性があります。